

2026年総合労働条件交渉の回答について

当社は本日、2026年の総合労働条件交渉について、労働組合からの要求に対し、賃上げおよび労働諸条件の改善を実施する旨の回答を行いました。

I 回答内容

1. 基本賃金の増額

- ・組合員1人平均で月額約20,500円の賃上げ（約6.1%）を実施する。

※定期昇給相当分を含む

※うち定期昇給相当分を除いた賃金改善額：13,000円（約3.9%）

2. 休暇制度の充実

- ・2026年度より年次有給休暇の付与日数を2日増し、20日から22日とする。
※2日分は事由を限定せずに利用できる特別年休として付与。
- ・さらに、特別年休については、2027年度より時間単位での取得を可能とする。

3. カフェプラン制度の拡充

- ・カフェプラン制度における育児・介護関連メニューのポイント単価を、1ポイント=150円に引き上げる。

※通常メニューのポイント単価は1ポイント=100円、これまで育児のみ1ポイント=120円。

※当社のカフェプラン制度は、毎年850ポイントを付与し、社員が自身のライフスタイルやニーズに応じて育児・介護も含めた各種メニューを自由に選択できる制度。今回の見直しは、育児・介護関連費用の上昇も踏まえ、仕事と生活の両立支援をより一層強化する観点から実施。

4. 勤続満40年者への永年勤続表彰の副賞授与

- ・永年勤続40年表彰の副賞として記念品を贈呈する。

なお、今般の労働諸条件の改善により、2026年4月入社の新卒は、総合職の大卒で302,000円（修士：322,000円）、基幹職の高卒で241,500円となります。

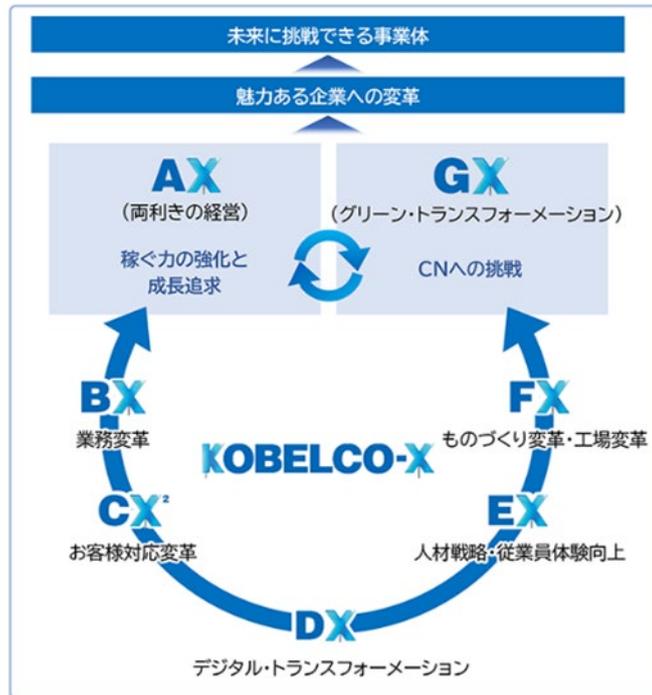
II 回答の考え方

KOBELCOグループは今中期経営計画（2024～2026年度）において、「魅力ある企業への変革」を掲げ、その実現に向けた変革施策「KOBELCO-X」*を推進しています。厳しい事業環境が続く中であっても、当社グループが持続的に成長していくためには、当社グループで働く一人ひとりが生き生きと仕事に取り組み、変化に主体的に対応していくことが重要であると考えています。

KOBELCO-XのうちEX（人材戦略・従業員体験向上）においては、人への投資を重要な施策の一つとして位置付けており、本年の交渉においても、賃金改善をはじめとする労働諸条件の充実に取り組むことが、将来の成長と企業価値の向上につながるものと判断しました。

今後も人材の確保・定着や生産性向上といった課題に対し、社員がより一層能力を発揮できる職場環境の整備に努めていきます。

※KOBELCO グループが魅力ある企業へと変革していくために取り組むべき変革を総称して「KOBELCO-X」と名付け、具体的な7つのXを設定しています。



以上